

今の時代、有権者に求められるもの

高千穂町 甲斐 大夢

私は、昨年４月から高千穂町の税務課で働いております。税務課は町民の方々の税額の計算をしたり、徴収を行ったりする部署であり、嫌でも数字と向き合わなければなりません。

そんな私ですが、先日行われた“衆議院議員総選挙”の投票に行きました。

これまでは選挙権があるからと、ただ行って投票するだけでしたが、昨年からは税務課で仕事をするようになり、少しばかりですが、“税”の知識や日本の経済状況に対する理解が深まりました。このような環境で過ごす中で、今までとは大きく変わり、ニュースや政治に関するテレビ番組を見る時間が増え、興味を持つようにもなり、今回の選挙では、誰に投票するか、どの政党に投票するかを調べながら自分になってほしいと思う候補者や政党に投票しました。

また、今回私は、期日前投票と投票日当日の事務に従事しました。その中で、若年層の投票率が低いと感じました。これは少子高齢化も関係していると考えます。現在の日本の政治は有権者人口に占める高齢者の割合が増し、高齢者層に需要のある政治になってきていると思います。現在の政治のように高齢者を主とした政治を行うことも大事だと思いますが、今より更に社会全体に視野を広げることで、人口減少の改善にもつながり、若者の投票率も少しずつ上がっていくと思います。

高千穂町では、１１月１日から“推しの子”という、今、若者や海外から大人気のアニメとコラボしています。このコラボを行ったきっかけは、高千穂町は国内はもとより、海外からもたくさんの観光客が訪れてくださるのですが、年齢層の高い方が多い傾向にあり、また、高千穂町の課題である人口減少と少子高齢化の改善を計りたいとの思いからだそうです。その実績として、実際に訪れてくださった方々のアンケートでは、グッズを購入した方が１１月２６日時点で９１名、そのうちの７割を１０代～３０代の若者が占めており、SNSでも町内外問わず喜びの声が多く上がっています。

今の時代、こういった全国的に人気のあるものとのコラボや共演を行うことで、若者からの支持も厚くなり、ここに住みたいと思う方も増え、投票率の増加につながるのではないかと思います。

ですが、投票に行くことがゴールではありません。投票することで、有権者として、【社会問題に興味を持つこと】、【自分が選んだ候補者、政党を理解する】といったことが求められてきます。これからの社会は若者が担わなければなりません、そのためには、一人一人が有権者という意識をもって選挙に行き、投票する必要があります。

次に私が注目するのは、選挙方法です。今の時代はSNSが主流になってきていますが、現在の投票方法には、電子投票やインターネット投票などは取り入れられていません。先日行われた衆議院議員総選挙の事務に従事した際には、何名か足が不自由な方や家から投票所までが遠いと話していた方が見受けられました。そういった方や、交通の便が良くない方たちのためにも電子投票やインターネット投票を取り入れるのも一つの案だと思います。そうすることで、若者も自分の持っているスマートフォンで投票することができ、全体の投票率も上がると思います。また、開票作業で招集された職員の人件費削減にも繋がっていくのではないかと考えます。

この時代だから出来ること、この時代だから成り立っているもの、それらを今よりもさらにより良いものにするためには、私たち有権者全員が選挙に行く必要があります。一人一票は小さなものを感じるかもしれませんが、その一票がこれからの社会に大きな影響を与えます。現状に嘆いているだけでは何も変わりません。日本の政治を変えることが出来るのは私たち有権者であることを忘れてはいけません。